

令和4年度 第1回銚子市介護保険事業等運営協議会 議事録

日 時 令和4年6月23日（木） 午後2時30分から3時55分

場 所 議会棟全員協議会室

出席委員（委員総数17名中10名出席）

高橋委員、兒玉委員、田代委員、宇佐美委員、菅澤委員、小澤委員、伊東委員、文平委員、椎名委員、宮澤委員

（欠席委員：鈴木稔委員、泉委員、米谷委員、高田委員、宮内委員、鈴木一男委員、鈴木真理子委員）

出席職員

伊藤課長、八角補佐、林補佐

菱木副主査、加瀬副主査、加瀬（暁）主事

江波戸主査、鈴木主査、穴澤副主査、武藤副主査、飯塚主任保健師

加藤東部地域包括支援センター長、岩瀬中央地域包括支援センター長、峯岸西部地域包括支援センター長

【交代委員紹介】

食生活改善推進員協議会推薦委員の交代を報告

【報告事項】

令和4年度 銚子市介護保険事業等運営協議会実施計画 資料1
年4回を予定

令和3年度 第4回銚子市介護保険事業等運営協議会（書面開催）報告 資料2

【議事】

- (1) 令和3年度地域包括ケアシステム推進計画実績報告及び令和4年度計画（案）について 資料3
- (2) 令和3年度地域包括支援センター事業報告及び令和4年度事業計画（案）について 資料4
- (3) 地域密着型サービス事業所等の指定の承認について 資料5
- (4) 地域密着型サービス事業所等の指定更新について（報告）資料6

【要旨】

- (1) 令和3年度地域包括ケアシステム推進計画実績報告及び令和4年度計画（案）について 資料3

質疑・意見	事務局回答など
介護予防・地域支え合いサポーター養成を推進するには、サポーターはどうやって関わっていくのかまで行っているか。そこが重要だと思う。	サポーター登録をされた方については、活躍の場も生活支援とあわせて検討している。
「どこシル伝言板」とは具体的にどのようなものか知りたい。	マスコットキャラクターちよーぴーとQRコードが並んでいるアイロンシールになり、衣服、帽子、バックな

	<p>どに付けてもらうもの。スマートフォンなどで読み取ると、事前登録した介護者等にメールが届く。行方不明になった認知症等の高齢者を早期発見・保護できる。</p> <p>銚子市でも昨年度、一昨年度に1名ずつ、認知症機能が低下して自分の名前も住所もわからない方を警察、包括、消防で保護したケースがある。そのような時にスマートフォンでQRコードを読み込むと事前に登録した方にメールが発信され、早期に連絡が入り保護ができるシステムになっている。</p> <p>旭市は今年度、匝瑳市は2年前に導入している。</p>
<p>人権の問題もあると思うが、GPS機能を組み込むことはできないか。GPSを組み込むと個人情報や人権にかかわるのか。</p>	<p>別の業者のシステムにグーグルマップで位置がわかるサービスがある。今回、導入するものはQRコードを読み取る方も読み取られる方も個人情報が外に出ない仕組みになっていて、読み取ると登録した方に今、発見されたとアナウンスが届き、希望があればチャット形式で会話ができる仕組みになっている。</p>
<p>SOSネットワークを申請しているが、連動という形になるのか。</p>	<p>SOSネットワークとの連動もはかり、SOSネットワークに登録していない方は、登録してもらう。</p>
<p>エンディングノートはどのように配布したのか。</p>	<p>広報の3月号で周知し、市、包括、支所2か所の窓口で配布した。配布する際に、使う方の年代と性別を聞き取っている。70代が多く、80代、60代で9割を占めているが、40代、50代もいた。</p> <p>今年度は地域包括がプラチナの団体に配布の他、会議でも周知をしている。</p>
<p>エンディングノートは個人が書くものか、家族と一緒に書くものか。</p> <p>エンディングノートと内容は異なるが、医師会ではリビング・ウィル、最期にどう看取ってもらいたい、本人の意思表示を家族と話しあうアドバンス・ケア・プランニングを作成している。</p>	<p>基本的には個人に書いてもらうもので、財産など今後のことをどうするか、記入するノート、ご自身で書けない方は家族と一緒に書いていただく。</p>
<p>介護予防・地域支え合いサポーター養成講座からサポーター登録者が6名は素晴らしい。サポーターの団体の位置づけは、自主的なものなのか、市は事務局なのか。</p>	<p>講座を受けた方に対して、フォローアップの研修会受講後に登録の意向を確認している。24名が登録していて、新たに団体を作っているのではなく、卒業した方の育成という形になり、24名のうち6名が介護事業所で活動した。</p>
<p>地域支え合い推進会議の委員がステップアップして、最終的にはサポーターに登録して、ボランティアあるいは有料のサービスに移行するというイメージか。介護の資源、支えになり仕事になっていくのが理想だと思う。</p>	<p>将来的にはそのような形が望ましいが、今は、貴重な体験だったと、できそうなイメージ化をし、やがて地域に展開していく、色々な考え方を持ってもらう段階であり、仕事までは行かなくても地域で支え合っていくことに繋がっていかばいいかと考える。</p>

<p>【評価】に「思っていた活動と異なった」とあるが、具体的な意見は。</p>	<p>サポーターフォローアップ講座の時に特技を伺い、サポーターの特技を活かした活動をと考えていたが、コロナの影響もあり、受け入れ先が難しく、介護サービスの方の話し相手や職員のサポートになっている。サポーターの中には自分の特技を活かした活動を最初からできるとイメージしていた方もいて、調整できなかった反省点でもある。今年度はサポーターのやりたい事、やってみたい、できるかもしれない事を引き出しながら実際の活動につなげられるよう工夫したい。</p>
<p>医師会からの情報として、「医療と介護の連携シート」はケアマネが使いやすいように考えている。</p> <p>地域包括ケアシステム全体に関しては市、医師会が協力してシステムの構築を考えて、実現するかはわからないが、2025年に向けて勉強して研修会を行う予定。</p> <p>ケアマネ、社会福祉士、薬剤師、歯科医師会、消防、その後民生委員などと情報の共有をしようという構想をしている。</p>	<p>市でも情報システムを検討するための勉強会の予算をとっている。国のガバメントクラウドの動きも見極めながら、勉強会の開催について検討する予定。</p>

(2) 令和3年度地域包括支援センター事業報告及び令和4年度事業計画（案）について 資料4

質疑・意見	事務局回答など
<p>介護予防ケアマネジメント・介護予防支援の緩和した基準とは。</p>	<p>サービス提供者側の体制。</p>
<p>訪問サービスAのサービスを受けている方はどのくらいいるのか。当法人で5、6人に提供しているが運営できる人数ではない。実際に必要な人にサービスが届いているか実態調査などでみていただきたい。</p>	<p>貴法人で提供していただいている人数のみ。</p>
<p>地域ケア会議の件数はよくわかった。地域課題発見機能や地域づくり・資源開発でどのような成果やわかったことがあったか。</p> <p>市全体の課題がわかったことは素晴らしいこと。できれば件数だけではなく、成果、課題といった表現をしていくと、さらにPDCAサイクルに基づいたアウトプット指標がわかるので期待したい。</p>	<p>平成28年10月から委託という形で地域ケア会議を重ねて、昨年度は今までの個別の課題から地域課題の抽出としたが、3圏域の個別の地域課題まで導きだすことはできなかった。件数もまだ少し足りないと感じる。</p> <p>中央包括の事業計画にあるように障害から介護へ移行する際に上手く引継ぎができないケースがあり、地域包括個別の問題ではなく、市全体、障害、介護を含めた問題として取り組んでいる。</p>
<p>町内会等が情報を共有することはできるのか。地域の団体が相談可能な情報なのか。</p>	<p>支援が必要な方に対する相談なので、個人情報に配慮し、個別ケースごとに情報共有しながら支援している。</p> <p>地域ケア会議に町内会、民生委員も出席してもらい、その時は個人情報に関する誓約書に記入をお願いしている。</p>

高齢者の虐待について、虐待されている方は認知症の方か。	必ずしも認知症の方ではない。 包括社会福祉士の連絡会で分析しているが、全国4割、市2割、全国に比べて低い。この数値だけで喜べることはない。本人が発信できない、わかっていない虐待疑いケースもあると思うので発見できる体制が必要。
社会的風習や近所の目が有り隠したくなることもあると思うが見極めて欲しい。	高齢者の方の意思もある。配慮をしながら安全を第一にアセスメントし、継続的に長い見守りを重ね家族と本人に支援をしていく。
実態把握事業の不在、会えなかったケースは。	75歳以上でも比較的働いている方もいて、不在時はチラシをいれて3回以上は訪問しているが、働いていて不在の方は、今は元気なので大丈夫という方が多い。 地域包括ケアシステムの高齢者一体的実施事業で医療、介護のレセプトをあわせて全く利用していない75歳以上の状況を把握する活動も始めている。

(3) 地域密着型サービス事業所等の指定について 資料5

質疑・意見	事務局回答など
定期巡回サービスの指定は始めてか。 定員の制限はあるか。	銚子市では初めての指定になる。 定員の制限ではないが、選定委員会の時に、サ高住に入居している方18名、その他12名を目標にしていると聞いている。
元オハナのデイサービスセンターは認知症対応型ではないのか。	地域密着型通所介護になる。

指定承認について諮ったところ、異議なしにて承認を得た。

(4) 地域密着型サービス事業所等の指定更新について (報告) 資料6

【その他】

次回開催を9月1日(木)として報告し、会議終了とした。